

SICE システム・情報部門学術講演会(SSI) 2014 サンプル原稿*

○システム太郎 情報花子 (××大学)

概要 この原稿のサンプルには、SSI2014 の原稿執筆およびアップロードにおける注意が記されています。

キーワード: 電子投稿方法, 原稿書式

1 原稿の投稿方法

計測自動制御学会 システム・情報部門 学術講演会 2014 (SSI2014)では、原稿をPDFでご用意いただき、大会のホームページ¹⁾ からアップロードしていただきます。使用言語は日本語または英語です。

2 テンプレートファイルのダウンロード

SSI2014のホームページ¹⁾ からテンプレートファイルをダウンロードします。pLaTeX2.09またはpLaTeX2eを使用される場合は、SICE-SSI.styとsample.texの二つのファイルをダウンロードしてください。sample.texはpLaTeX2eとpLaTeX2.09のどちらでもコンパイルすることができます。SICE-SSI.styとsample.texはEUC版とSJIS版の2種類を用意しましたので、それぞれの環境に応じてダウンロードするファイルを選択してください。Microsoft Word (以下MS-Wordと略す)を使用される場合は、template.docをダウンロードし、原稿を作成してください。それ以外のワードプロセッサをご使用の方は、sample.pdfをダウンロードし、原稿の体裁がなるべくサンプルと近くなるよう原稿を作成ください。

3 原稿の体裁

原稿は1ページ以上6ページ以下です。アップロードするファイルサイズに特に制限は設けませんが、あまりに巨大である場合、ファイルサイズの縮小をお願いする場合があります。

3.1 全体の体裁

A4用紙の(US Letterは不可)、縦250 mm、横170 mmの枠内に収まるようにしてください。余白は、上20 mm、下27 mm、左20 mm、右20 mmとします。活字の大きさは、題目16ポイント、著者名と所属12ポイント、概要とキーワード9ポイント、章タイトル11ポイント、節タイトル10ポイント、本文の活字10ポイント、参考文献9ポイントを目安としてください。原稿は、

- ・ 題目
- ・ 著者名 (登壇者に○印) と所属
- ・ 概要
- ・ キーワード
- ・ 本文, 参考文献

の順に書いてください。キーワードまでを1段組、本文・参考文献を2段組にしてください。

3.2 図と表

図と表は、Fig. 1, Table 1のように番号を振り (Fig. 1 参照), 図説, 図中の説明文は英文で記入してくだ

さい。本文で引用する場合も「Fig. 1に示す」などのようにFig.とTableを使用してください。

図や表中の文字は小さくなりすぎないように気をつけ

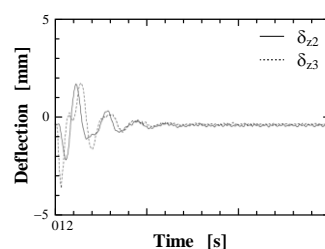


Fig. 1: A sample figure.

てください。PDF原稿を作成する際、図の画質が落ちないように、注意してください。特にMicrosoft Wordなどで原稿を作成する際、JPEG画像を貼り付けると、一度圧縮されている画像が再圧縮されるので画像が劣化するようです。貼り付ける画像は、画質の良い(圧縮率の低い)画像を用いるか圧縮しない画像フォーマットを選ぶなど、各自工夫し、最終的なPDFファイルにおいて画像が劣化しないよう注意してください。

3.3 参考文献

文献の引用は本文中に¹⁾のように書き、本文の最後にまとめて記述します。次のフォーマットを推奨します。

(a) 雑誌論文の場合
番号) 著者: 論文題目, 雑誌名, 巻(太字)-号, 始ページ/終ページ(年)

(b) 単行本の場合
番号) 著者: 書名, 始ページ/終ページ, 発行所(発行年)

なお、本研究が他学会で発表済みの内容の場合、その文献を参考文献に挙げるとともに、脚注で明示して下さい。

参考文献

- 1) <http://www.sice.or.jp/SSI2014/>
- 2) 松野, 中野: 第7回計測自動制御学会制御部門大会サンプル原稿, 第7回計測自動制御学会制御部門大会予稿集, 1/4 (2007)

*本研究は○○で発表したものである。